

# しょうばら市議会だより

～ 議会報告会でいただいた意見などをお知らせします～

号外：平成 25 年 9 月 20 日発行

庄原市議会では、議会基本条例に基づく議会報告会を実施しました。

概要は8月20日発行のしょうばら市議会だより第36号に掲載しておりますが、会場から寄せられた意見等について、今回抜粋してお知らせします。

## 議会報告会当日の流れ

### 1 議会活動報告

(1) 平成25年度一般会計予算の減額修正について

(2) 6月定例会の審議状況について

報告に対する質疑・応答

### 2 意見交換など

議会や行政への意見・要望

議会報告会でいただいた意見・要望等については、今後の議会運営に生かしていきます。

地域	地区	開催日	会場	参加者数(人)
庄原	庄原	7月16日	庄原市民会館	27
	高	7月17日	高自治振興センター	16
	本村	7月9日	本村自治振興センター	18
	峰田	7月10日	峰田自治振興センター	17
	敷信	7月11日	敷信地区民ふれあい広場	16
	東	7月17日	東自治振興センター	36
	山内	7月5日	山内自治振興センター	14
	北	7月16日	北自治振興センター	12
西城	西城	7月8日	西城自治振興センター	14
	八銚	7月11日	八銚自治振興センター	9
東城	東城	7月12日	東城自治振興センター	4
	小奴可	7月10日	小奴可自治振興センター	13
	八幡	7月8日	八幡自治振興センター	11
	田森	7月12日	田森自治振興センター	7
	帝釈	7月11日	帝釈自治振興センター	31
	久代	7月4日	久代自治振興センター	31
	新坂	7月10日	新坂自治振興センター	12
口和	口和	7月19日	口和自治振興センター	12
高野	高野	7月9日	下高自治振興センター	10
比和	比和	7月10日	比和自治振興センター	14
総領	総領	7月19日	総領自治振興センター	4
合計			21会場	328人



口和自治振興センター（口和町）



新坂自治振興センター（東城町）

平成25年度一般会計  
予算の減額修正について

**問** 超高速情報通信網整備と防災行政無線施設整備事業を減額修正されたが、市もいろいろな案から絞り込んだ事業だと思っ  
どこがいけなかったのか。

**答** 市は平成24年から検討委員会を立ち上げ、6回審議し5通りの案について検討し、財政状況を考慮し、民設民営でとりあえず中心地から整備すべきとした。その他の地域については、新しい技術を取り入れて拡大していくというものであった。しかし、大きな事業である上、市長の交代時期とも重なり、議会とすれば新しい手法も含め再度検討すべきとの結論を出した。

**問** 3月定例会での新年度予算減額理由は市長交代ということではなく、本論での議論がなされた結果であるべき。提案する市長も短期間で光・防災の方向付けを行っており、本当にしっかり

とした検討がなされたとは思えず、提案の中身が不十分だ。

**答** この計画では、光ファイバーについては受益が一部の地域になり、さらに、4割の利用にとどまってしまう見込み。防災行政無線については、24億円全て基金を充当することはどうか、東広島では安価なFM放送の活用を行っており、これらを含めた検討もすべきと考えた。

**問** 光ファイバーについて昨年市民への説明会があったが、そこで出た地域の声を議会はどのように受け止めたか。

**答** 市の財政状況を見たとき、市内全域を一気に整備とはならない。都市計画区域、支所周辺などを優先すべきとの提言があった。大事業なので、新市長になってから進めるべきということ  
で議会は否決した。

**問** 光ファイバー設置と防災行政無線整備は、合併後も計画に入っていたのに、なぜやめさせたのか。

**答** 今回、市長が交代するからという理由ではなく、新市長に託したいという思いで、一旦ストップをかけた。完全にやめたというわけではない。この分野は日進月歩なので、いろいろな方法を検討している。

**問** 住民の安心・安全につながる視点で光・防災の整備を検討すべき。例えば奥出雲町の高齢者への対応や不便な地域を優先するなどの検討が必要であり、現計画のように企業へのメリットばかりでは受け入れられない。

**答** 極めて大切な視点である。白紙からのスタートであり、先進事例研究も行い、議論を深め方向を出すべきだと考えている。

**問** インターネットについて、どのような役割をし、どのようなメリットや使い方があるのか専門家を呼んで議員も学んでほしい。防災行政無線については、情報伝達の方法として、電子メールやパソコンの利用も合わせて、確実に伝わる方法を考えてほしい。10年、20年経過後の機器や施設更新に備え、例えば基

金の積み立ても考える必要があるのでは。

**答** 情報通信関係に詳しい議員もいる。月2回の委員会で検討に入っている。皆さんの生活に関わる部分は迷惑を掛けたくない。有線、無線合わせて考えていきたい。ただ、機器の使い方  
方を理解しづらい高齢者の方も増えている状況もある。更新時の対応と合わせて審議を深めたい。



庄原市民会館（西本町）

## 6月定例会の審議状況について

**問** 議員報酬は下げないのか。

**答** 議員定数を25人から20人に削減をした。その結果、報酬は2500万円の減となり、政務活動費720万円は増額であるが、全体で1780万円の減額となっている。議員も定数を減らして身を削っている。ご理解いただきたい。

**問** 職員給与のラスパイレース指数が100を超えていればカットすべきで、以下なら削減は必要ない。議会の採決は時によりバラバラであるが、職員給与に関する基本的な考えはどうか。また、議員定数を減らす中で、報酬をどのようにするか、基本的な考えを持つべきである。

**答** 地方自治体は以前から経費削減に努めており、特に合併以降、職員数削減や特例減額を実施し、ラスパイレース指数が90を切ることもあるような大幅カットも行った。本来、地方公務員の給

与は地方が独自で決めるべきもので、国が関与すること自体が異常であり、議会・執行者共に意見書を提出するようにした。一方、労使が合意しているならば尊重すべき面もある。議員報酬については、議会としてもさまざまな議論を重ねたが、報酬審議会へ委ねた結果、現在の水準を維持ということになった。

「ラスパイレース指数」とは、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示した指数。

**問** 職員給与と減額により、職員のモチベーションが下がると思う。仕事は増えるのに、給料を減らすのでは士気が下がるのではないか。減額分の約8900万円は他から捻出できなかったのか。

**答** 議会では、削減反対の意見もあった。以前は削減に反対し、否決している。今回は、労使が合意した段階で議案が提出された。確かに権限移譲で仕事も増えている。職員の期末手当は減額しない。決算剰余金で基金積立ができていますので、他の方法での財源の捻出は可能であった

かもしれないが、市長の判断でもある。他の会場でも同じ意見が出た。今後、執行機関への意見の参考にさせてもらう。

**問** 行政も議会も（木質バイオマスプラント整備事業を）断念した場合、4億5千万円の補助金返還が必要となり、事業を継続した場合、1円たりとも返還しなくてもいいのか。

**答** 今、プラント整備が完全にできるか、計画どおりに機能するかどうか、民間会社が試運転をしている。事業中止を国が決定した場合、事業に対する国庫補助金4億5千万円を返還しなければならぬ。この事業は、国が強い方針の中で進め、市は国と相談しながら進めてきた経緯がある。国庫補助金の流れは、使う順序も方法も、国の強い指導の中で行ったと確認している。なかなか庄原市だけの考えでは決着が付かない。議会としてはじくじたる思いがあるが、しっかりとした方向性が示されなければ、方向付けは難しい。後継

企業が事業継続すれば、返還は不正に受給した内の2億円ですむ可能性もある。検討委員会の報告を待つて、市長は事業の採算性を考えると思いつ。

**問** 木質バイオマスの件について、発議を否決したとのことだが、議会はどうしたいのか。

**答** 6月定例会で100条委員会設置の発議を否決した。検察の調べ以上の内容は分からないと判断した。一審で実刑判決が出たが、控訴している。市のチェック体制の不備などは、検証委員会の報告書にて確認している。この事件には様々な事情がある。今後執行機関からの方針を聞く中で、議会として判断したい。



八銚自治振興センター(西城町)



## 2 議会へ対する意見・要望

皆さんからいただいた意見・要望等は次のとおりです。

工業団地について、議員も動いて企業誘致をしてもらいたい。

議会報告会に参加してよかった。光ファイバーなどがどうしてできないのが、よくわかった。こういった否決の理由についても、議会だよりでわかるようにしてほしい。

本会議において突っ込んだ議論をすべき。国会の党首討論のように緊張感のあるものにし、また傍聴へ行きたくなるようにしてほしい。

議会として事業仕分けを行ってみてどうか。合併前から継続している補助金も多くある。議員から新たな制度も提案すべきだ。

政務活動費で研修に行くのではなく、もっと現地で市民の声を聞いてほしい。

議会報告会に出向く議員について、地元出身の議員が1名は入ってほしい。地域の話をして、どこのことかわかってもらえないのではないが。

防災行政無線や光ファイバーの整備は凍結せず、前向きに取り組んでほしい。

人口減少へ歯止めをかける対策を、他市の例を参考にしながら打ち出してほしい。

広い市域であるので、点在する観光地を結び企画を提案してほしい。必要などころに税金をつかってほしい。

議員はそれぞれの地域に入って意見を聞くべき。年に4回以上は出向いてほしい。

ぜひ、議員全員フェイスブックを使ってほしい。

議会における議論をしつかり行い、反対するばかりでなく妥協点を見出す努力をすべき。また、議論の形態として、庁舎1階ロビーでの会議、市長・議員・傍

聴市民の意見交換、土曜議会も検討してみるべき。

庄原駅前の整備が進むが、完成後のにぎわいがどうなるのか疑問。家屋の取り壊しのみに終わる世帯もあり、寂しくなる。議会として真剣に検討してもらいたい。

など、多くの意見・要望等をいただきました。

なお、議会報告会でいただいた行政への意見・要望等については、執行機関へ連絡しています。

これは、議会は議事機関であり、事務の管理や執行は市長の権限であるためです。



比和自治振興センター（比和町）

議会報告会は今年度で3回目となりました。参加者数は年々減少しており、報告会の意義を問われていることであり、より多くの皆さんに参加いただけるよう取り組む必要があります。

来年度も引き続き、議会報告会を開催することとしておりますが、市民の皆さんが何を聞きたいのかを的確につかみ、より充実した議会報告会となるよう努めてまいります。

多くの市民の皆さんのご来場をお待ちしております。

なお、議会報告会の内容を取りまとめたものは、各自治振興センターへ送付しています。また、市議会のホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

発行 庄原市議会  
編集 議会広報委員会

〒727 8501

広島県庄原市中本町一丁目10番1号

電話 0824 73 1162